



## 2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月10日

上場会社名 株式会社 ホギメディカル  
 コード番号 3593 URL <http://www.hogy.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東

(氏名) 保木 潤一  
 (氏名) 川久保 秀樹  
 TEL 03-6229-1300  
 配当支払開始予定日 2020年8月31日

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	8,376	7.3	1,143	14.3	1,251	10.7	908	7.9
2020年3月期第1四半期	9,038	0.2	1,335	6.9	1,401	10.2	986	9.7

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 1,260百万円 (2.8%) 2020年3月期第1四半期 1,297百万円 (20.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	30.04	
2020年3月期第1四半期	32.66	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	105,651	94,700	89.5	3,129.84
2020年3月期	106,664	93,921	88.0	3,104.33

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 94,605百万円 2020年3月期 93,817百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	16.50	16.50	16.50	16.50	66.00
2021年3月期	17.00				
2021年3月期(予想)		17.00	17.00	17.00	68.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,130	4.1	3,100	19.4	3,230	18.6	2,530	22.5	83.70
通期	38,700	3.9	6,400	20.6	6,830	17.9	5,300	4.2	175.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料9ページ「四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	32,682,310 株	2020年3月期	32,682,310 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	2,455,287 株	2020年3月期	2,460,787 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	30,223,453 株	2020年3月期1Q	30,191,789 株

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により国内外の社会、経済に大きな打撃を与えております。各国政府による保護主義的な政策や緊急対策のための財政出動、また緊急事態宣言による外出、移動制限に伴う経済活動の抑制など、景気の先行きの不透明感は益々高まっております。

医療業界におきましても、新型コロナウイルスの感染拡大が大きな影響を及ぼし、各医療機関においては感染防止対策に向けた医療供給体制の整備・強化への対応を余儀なくされております。また、患者の受診抑制が進む中、医療機関によっては感染患者用の病床確保のため、緊急性の低い手術を延期したことなどから、当該期間における手術件数は大きく減少しました。ただし、緊急性の高い手術においては、緊急性の低い手術と比べ件数の減少が少なかったほか、月別では、特に大規模病院や地域中核病院における手術件数が5月に最も大きく減少しましたが、翌6月には回復の兆しを見せながら推移しております。

また、グローバルで医療材料に対するニーズが急速に高まり、需給バランスが大きく崩れたことから医療材料の不足が顕著となり、各供給企業に対して原材料の確保や生産能力の増強を含む製品の安定供給体制の整備等への要求が高まっております。

このような環境の下、当企業集団では、全社員が感染拡大防止に努めつつ、お客様への製品の安定供給を通じて医療現場に貢献することを最優先に企業活動を行ってまいりました。販売活動においては、感染拡大防止のために当社の営業員による新規販売活動を自粛したことに加え、医療機関における手術件数が大幅に減少したことが大きく影響し、手術用キット製品を中心に売上高が減少しました。そのうち、最重要戦略製品である「プレミアムキット」は、手術における安全性を確保しながら、術前の準備段階から、術中、術後までの業務を効率化できる付加価値の高い製品としてご評価をいただき、この厳しい状況下にありながら、売上高は堅調に推移いたしました。また、その他の一部の製品では、新型コロナウイルス感染拡大により一時的に売上高が増加いたしました。

この結果、当第1四半期の売上高は8,376百万円（前期比7.3%減）となりました。キット製品の売上高は4,786百万円（同12.7%減）、内「プレミアムキット」の売上高は2,364百万円（同0.1%増）となりました。売上原価は、償却費が減少したものの、売上高の減少により前期に比べ原価率が上昇いたしました。販売費及び一般管理費は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のための活動自粛の影響等により前期に比べ減少いたしました。この結果、営業利益は1,143百万円（同14.3%減）となりました。経常利益は、営業外収益において為替差益を計上したことなどから1,251百万円（同10.7%減）となりました。以上の結果、親会社株主に帰属する当期純利益は908百万円（同7.9%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ1,012百万円減少し、105,651百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金1,161百万円の減少と、受取手形及び売掛金648百万円の減少等により1,648百万円減少し41,580百万円となりました。固定資産のうち有形固定資産は、新キット工場Ⅱ期工事の設備投資等による建設仮勘定968百万円の増加、建物及び構築物の減価償却等による305百万円の減少、機械装置及び運搬具の減価償却等による445百万円の減少等により、108百万円増加し51,959百万円となりました。無形固定資産は、減価償却等による39百万円の減少により2,260百万円となりました。投資その他の資産は、所有する株式の時価評価等による投資有価証券661百万円の増加等により、567百万円増加し9,851百万円となりました。この結果、固定資産は64,071百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,791百万円減少し、10,951百万円となりました。流動負債は、未払金1,457百万円の減少、未払法人税等711百万円の減少等により、1,934百万円減少し8,426百万円となりました。固定負債は、所有する株式の時価評価等に係る繰延税金負債227百万円の増加等により、前連結会計年度末に比べて142百万円増加し2,524百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益908百万円の計上による増加、剰余金の配当による499百万円の減少、所有する株式の時価評価等によるその他有価証券評価差額金466百万円の増加等により、前連結会計年度末に比べて779百万円増加し94,700百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の88.0%から89.5%へ増加いたしました。

(キャッシュ・フローについて)

当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、以下に記載のキャッシュ・フローにより21,504百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,154百万円減少いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益を1,251百万円、減価償却費を1,112百万円計上し、売上債権の減少643百万円、未払消費税等の減少256百万円、法人税等の支払989百万円等がありました。これらの結果、キャッシュ・フローは1,624百万円となり、前年同期に比べ143百万円減少いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、新キット工場Ⅱ期工事の設備投資等による有形固定資産の取得による支出2,234百万円、無形固定資産の取得による支出27百万円等がありました。これらの結果、2,256百万円の支出となり、前年同期に比べ1,074百万円支出が増加いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払499百万円、信託型従業員持株インセンティブ・プラン(E-Ship®)による自己株式の処分による収入18百万円等がありました。この結果、481百万円の支出となり、前年同期に比べ15百万円支出が増加いたしました。

通期のキャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、約9,000百万円の増加を予想しております。投資活動によるキャッシュ・フローは、約4,600百万円の支出を見込んでおります。財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払いにより約2,000百万円の支出を見込んでおります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当企業集団では、引き続き付加価値の高い製品を安定的にお届けすることを通じて、医療関係者の皆さまの「安全」と「安心」を確保し、医療の質の向上に貢献すべく取り組んでまいります。

特に「プレミアムキット」は、医療安全と業務の省力化を両立し、より効率的な病院経営に資する付加価値の高い製品です。今後想定される診療報酬の引き締めや病床再編をはじめとする、お客様を取り巻くさまざまな環境変化に対するソリューションとして提供してまいります。

また、当企業集団は、これまでも長きにわたり品質の高いサージカルガウンをはじめとする不織布製品を提供し続けてまいりましたが、今般の新型コロナウイルスの影響で世界的に不足した感染症防護製品の安定供給に対する重要性が見直されていることを踏まえ、国内トップメーカーの責任と役割を果たすべく、サージカルガウン製品の増産を行い、より安定的な供給を実現してまいります。さらに防護服、フェイスシールド、マスク、グローブ、シューズカバーを一つのパッケージにした「プリコーションセット」をリニューアルし、当該製品群のラインナップを増強することで、今後の感染症防護製品に対するさらなる需要の高まりに備えております。

連結業績の予想につきましては、新型コロナウイルスの影響による医療機関における手術件数の状況は、期初に想定した状況と比べ、当該期間における手術数は大きく減少したものの、緊急性が高い手術においては緊急性の低い手術に比べて減少幅が少なく、大規模病院や地域中核病院を中心とする手術件数は徐々に回復の兆しを見せながら推移しております。一方、小康状態が長期間にわたり継続した場合や第2波の発生など感染爆発が発生する懸念は依然として払拭されておりません。

今後の動向につきましては、減少した手術を行うべく動き出す医療機関と、一定程度の制限を行い続ける医療機関とで経営方針が異なってくることが想定されます。

当企業集団といたしましては、医療機関の動向を注視し、小康状態が長期間にわたり継続した場合や第2波の発生など、通期見通しに対する影響額の算定が可能となり開示を必要とする場合には、すみやかに開示いたします。

(連結業績予想)

売 上 高	38,700 百万円	(前期比 3.9%増)
営 業 利 益	6,400 百万円	(前期比 20.6%増)
経 常 利 益	6,830 百万円	(前期比 17.9%増)
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	5,300 百万円	(前期比 4.2%減)

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,377	22,216
受取手形及び売掛金	11,352	10,704
商品及び製品	3,823	4,252
仕掛品	366	400
原材料及び貯蔵品	3,678	3,320
その他	631	687
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	43,229	41,580
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	23,173	22,868
機械装置及び運搬具(純額)	8,765	8,320
土地	9,604	9,601
建設仮勘定	8,995	9,964
その他(純額)	1,311	1,205
有形固定資産合計	51,851	51,959
無形固定資産	2,300	2,260
投資その他の資産		
投資有価証券	7,941	8,603
その他	1,349	1,255
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	9,283	9,851
固定資産合計	63,434	64,071
資産合計	106,664	105,651
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,675	4,501
未払法人税等	1,060	349
引当金	466	155
その他	4,157	3,419
流動負債合計	10,360	8,426
固定負債		
長期借入金	175	175
退職給付に係る負債	468	394
その他	1,737	1,954
固定負債合計	2,381	2,524
負債合計	12,742	10,951

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,123	7,123
資本剰余金	8,336	8,336
利益剰余金	83,234	83,642
自己株式	△8,557	△8,539
株主資本合計	90,136	90,562
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,623	4,089
繰延ヘッジ損益	189	165
為替換算調整勘定	9	△71
退職給付に係る調整累計額	△141	△140
その他の包括利益累計額合計	3,681	4,042
非支配株主持分	103	94
純資産合計	93,921	94,700
負債純資産合計	106,664	105,651

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	9,038	8,376
売上原価	5,243	4,874
売上総利益	3,794	3,502
販売費及び一般管理費	2,459	2,358
営業利益	1,335	1,143
営業外収益		
受取利息	15	19
受取配当金	38	29
為替差益	6	43
その他	10	17
営業外収益合計	69	109
営業外費用		
支払利息	—	0
投資事業組合運用損	3	1
その他	0	0
営業外費用合計	3	1
経常利益	1,401	1,251
特別損失		
固定資産廃棄損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	1,401	1,251
法人税等	422	352
四半期純利益	978	899
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7	△8
親会社株主に帰属する四半期純利益	986	908



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	978	899
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	435	466
繰延ヘッジ損益	△83	△24
為替換算調整勘定	△32	△81
退職給付に係る調整額	△0	1
その他の包括利益合計	318	361
四半期包括利益	1,297	1,260
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,304	1,269
非支配株主に係る四半期包括利益	△7	△8

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,401	1,251
減価償却費	1,289	1,112
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	0
受取利息及び受取配当金	△53	△48
支払利息	—	0
投資事業組合運用損益(△は益)	3	1
為替差損益(△は益)	△11	△5
売上債権の増減額(△は増加)	△307	643
たな卸資産の増減額(△は増加)	301	△118
仕入債務の増減額(△は減少)	△222	△170
その他	657	△106
小計	3,058	2,559
利息及び配当金の受取額	58	54
利息の支払額	—	△0
法人税等の支払額	△1,348	△989
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,767	1,624
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,025	△2,234
無形固定資産の取得による支出	△105	△27
投資有価証券の取得による支出	△44	—
貸付けによる支出	△0	—
貸付金の回収による収入	0	—
その他	△6	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,181	△2,256
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の処分による収入	18	18
配当金の支払額	△484	△499
財務活動によるキャッシュ・フロー	△466	△481
現金及び現金同等物に係る換算差額	13	△41
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	133	△1,154
現金及び現金同等物の期首残高	22,903	22,658
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	580	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,617	21,504

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

法人税等の計上基準

法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

(セグメント情報等)

当社及び連結子会社の事業は、医療用消耗品等の製造・販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。